

内視鏡手術支援ロボット 「ダ・ヴィンチ X」



ダ・ヴィンチの紹介

ダ・ヴィンチは米国インテュイティブサージカル社が開発した手術用ロボットでダ・ヴィンチXは第4世代にあたる最新鋭機です。患者さんの身体的負担が少ない腹腔鏡下手術の特長を生かしつつ、ロボットの機能による支援によって、従来不可能とされていた手術操作が可能になりました。

ダ・ヴィンチは3つの機械から成り立っており、医師はロボットのアームについている鉗子やカメラを遠隔操作して手術を行います。ダ・ヴィンチのみで手術が行われるわけではなく、患者さんの脇に助手の医師と看護師がついて補助を行い、協調して手術が行われます。

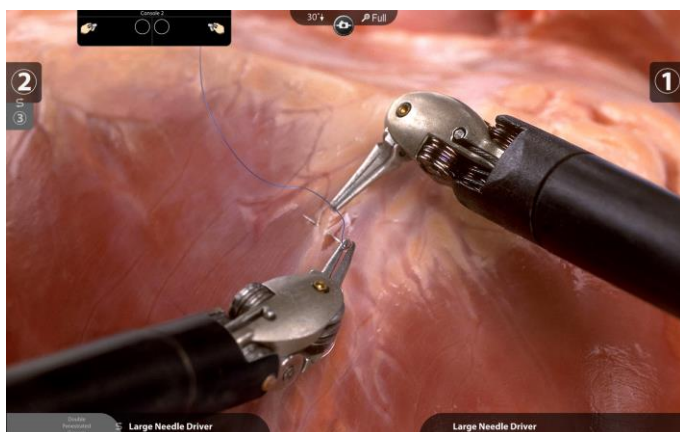
ペイシェントカート

患者さんに接続する機器です。
4本のアームの1本は精細な
高画質3次元カメラを、残る
3本には術者が操作するロボ
ット専用鉗子を接続します。



ビジョンカート

ダ・ヴィンチの中核機器です。ペイシェントカートから
送られてくる画像より3次元画像を作成します。



サージョンコンソール

術者が操作する機器です。術者は3次元画像を見ながら
自分でカメラを操作し手術部位の適切な画像を写し出
します。3本の鉗子も術者が操作します。360°自在に動
く鉗子は手振れも補正され、極めて繊細な動きが可能と
なっています。

